

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 鈴木理之
幹事 三好親
会報・雑誌委員長 加藤重雄

No. 8 **ロータリーを祝おう** **CELEBRATE ROTARY**
100年の歩み 100 Years 2004~2005年度 RI会長 グレンE.エステス・シニア

9月は新世代のための月間です
「各ロータリアンは青少年の模範」

きょうの例会
第1056回 平成16年 9月14日(火)

講演 “美術館という境界線”
愛知県美術館 館長 市川 政憲様
(紹介 油田君)

先週の記録
第1055回 平成16年 9月 6日(月) 曇り
ガバナー公式訪問及び6RC合同例会
ホストクラブ：名古屋東RC
パートナークラブ：名古屋和合RC・名古屋名東RC
名古屋昭和RC・名古屋東山RC
会場：ウェスティンナゴヤキャッスル

◆“君が代” “我等の生業”
◆出席報告
会 員 67(58)名 出 席 36名
出席率 62.07%
前々回 8月24日(修正出席率) 98.25%
◆ビジター数(9/7) 34名

名古屋東RC 余語会長挨拶

本日はガバナー公式訪問で大島宏彦ガバナーおよび安藤重良地区幹事をお迎えすることができ大変光栄に存じ上げるとともに心から感謝の意を表します。
また和合、名東、千種、昭和、東山及東RCより多数の方々のご出席を賜り誠に有難うございます。
例会に先立ち6RC会長幹事がガバナーと地区幹事を囲み懇談会がもたれました。ガバナーのお考えで最も共感し大切だと思えるのは職業奉仕をロータリー活動の原点として確認するという点であります。
ロータリーは異なった業種、さまざまな年齢の集まりで高い倫理観をもって職業や社会的立場の向上に努力を払い、社会に奉仕をしようとしている所のみ共通点を見出すことができるのであります。したがってお互いに異質なものが友人としてそれぞれが持っている

大島宏彦ガバナー講話



今日は各クラブが大事な例会を繰り合わせ、合同例会を催して頂き恐縮です。ホストを勤めて頂きました東クラブは元より各クラブの方々に深く感謝を申し上げます。
東クラブをスポンサーとして和合、千種、昭和が、和合から名東、東山が生まれ、親・子・孫の6クラブ

る資質や良質な情報を供給し吸収することができれば、個人を磨く上に極めて有効であり職業の上にも大きな利得をもたらすこととなります。
昨今ロータリーの規模は大変大きくなり地区あるいは国際ロータリーとして活動をしようと致しますと必然的にその組織や機構は複雑に多岐に流れ会員の負担もどこまでも拡大することとなります。すなわち本来ロータリアン各自の職業上の活動を賦活する立場のロータリー活動のために職業活動が犠牲を強いられる羽目になってしまい本末転倒といわざるを得ません。各自の職業を遂行する為のエネルギーはそれぞれ異なります。そのためロータリー活動は分に依じてそれぞれの職業活動に支障がないようになさねばなりません。
ロータリーにはmake up制度があります。他のクラブに出席してホームクラブを欠席した穴埋めをすることです。本来、不合格者や欠席者を救う為の再試験、追試験からきた言葉であるため、若干のためらいを覚える場合もありますが、ロータリー活動に弾力性をもたせるための大切な手段ともいえますので大いに活用すべきでしょう。
ロータリー活動も漫然と例会に出席するだけでは得るものも得られません。やはりロータリーに十分な関心を持ち強い好奇心をもって行動してはじめてそれなりに満足の行く収穫があるのではないのでしょうか。

は市内1番の大所帯です。

ガバナーがクラブと十分に対話できない分神田ガバナー補佐には精力的に各クラブをお回り下さってR Iの動向を説明されクラブの状況をご報告頂き恐縮しています。

合同例会ではそうした説明は省き「親子三代のクラブが顔を合わせた機会を生かして欲しい」とお願いしています。「会員減少は日・米・メキシコ・ブラジルなど多くの地域の現象」というR I会長の話がクラブ計画書にも載っていますが、先日ロータリー規定審議会で「クラブが合併した時、両クラブの歴史的資産を引継ぐ」ことが認められました。

R I全体で合併を考えねばならない時代が来たのです。そこまで深刻でなくても会員が減る時に活動をふやすのは大変ですから協力が大事です。国際活動など各地に例がありますが、今R Iが力を入れ出した家族委員会活動も合同企画に向いているかも知れません。各クラブがそれぞれの歴史を背景に競い合う面と協力し合う面を調和できたらと思っています。

クラブ計画書を拝見しますと東クラブと東山クラブが「万博館の成功への協力」をクラブ目標のトップに挙げられています。幸い皆様のご努力で予算面はあと数千万円で達成という所まで来ました。「地区からロータリーの灯が消える心配」は取り越し苦労だったと思います。

しかし開幕以後の運営はまだまだ課題山積です。万博委員会は一般の委員会と違って、その場で決めて実行する機関です。手間を掛けますが各クラブのご協力をお願いします。

昭和クラブは「原点を再確認」和合クラブは「和合ルネッサンス」千種クラブは「楽」名東クラブは「友愛の精神をもって楽しもう」とロータリーの原点を見据えた見出しのもとに具体的活動を提示されました。

私の地区目標の第2「職業奉仕」もロータリーの原点を見据えて見直しを図った積もりです。

「職業奉仕」を強調して地区全体の運営を進める以上、万博以外の無理は申さない積もりです。R Iテーマ「ロータリーを祝おう」も地区行事は万博だけに絞らせて頂きました。ロータリー100周年でクラブごとに提携先や地元から各種の話がありましようし継続中の活動もあろうと思います。「ロータリーが世界をつないでいる」ことを忘れる訳ではありませんが地区方針で「万博」「職業奉仕」を優先して取り上げた今年がその機会かと思っています。

ロータリーに限らず奉仕という、つい「やった方がいい」ことが溢れます。ロータリアンは多くの人の生活の責任を負っている人達です。その中でやらねばならない一つを選ぶとすると「自分に家族の生活を預けてくれた社員、自社の製品を使ってくれる顧客のために働く」が最優先です。

何と言っても職業あつてのロータリーです。

R Iや地区がそれを取り上げ、クラブが取り入れて頂けたのも、その変化を肌で感じるのが必要な時代になったからです。しかしその事に触れさせて頂くと、私の職業が新聞発行、それも会長こそ退いたといえ、圧倒的なご支持を賜っている中日新聞ですので、高い席からですが一言お礼を申し上げる事から始めなければなりません。

そして私が数年前までオーナーを勤めていた中日ドラゴンズにも暖かい激励を頂いています。ドラゴンズの成績が悪いと皆様の前に出るのも億劫になるのですが、お陰で今年は選手も裏方も落合監督の下、頑張ってくれていますので胸を張ってお礼が言えます。今後も応援を願います。そのプロ野球でもこの所、思っても見ない変化が起きて面食らっています。

このプロ野球の例もそうですが、大勢の社員を率いて進む社会は全て未知の領域です。だれも昨日まで夢想だにしなかった今日の現実を、明日は昔から決まっていた必然と信じて疑いません。一步、いや半歩先に踏み出した者が勝つこともあれば踏み止まった者だけが残ることもあります。その判断の分かれ道は日頃「広く聞く」ことを心掛けるしかありません。

ロータリーはその場です。それを貰えば社員も顧客もロータリーを大事にしてくれるのです。ですから週1時間、仕事を離れて参加する例会は貴重ですが時間を掛け過ぎてはなりません。私の社長・会長時代、いつも「社の仕事はつらい。しかし縁あって入社した社員に一度は「この社に入って良かった」と思わせたい」と考えていました。職業奉仕がこれです。

今日は日頃は顔を合わせない仲間が多数集まっていることと思います。人数ごとに会の性格も変わり時に応じていろいろな交友の輪を持つことが職業奉仕の原点になるのです。その意味で今日は私の話より久し振りに顔を合わせたロータリアン同志が交友を深める機会になったらと念じています。

◆例会前に6 R C 会長・幹事合同懇談会がガバナー・地区幹事にて開かれました。

ロータリー館建設による企業法人からの協賛金のお願い

- 1) 協賛金：5万円以上
 - 2) 支払い期間：平成16年8月1日より平成17年3月25日まで
 - 3) 領収書：「ロータリー館建設資金の協賛金として」を記載
 - 4) 税務上費用計上時期：開会日平成17年3月25日又は、閉会日平成17年9月25日の属する事業年度
- 協賛金を拠出して頂いた方はロータリー館内に企業名等を表示致します。

※ご支援頂ける企業は事務局までお申し出下さい。

◆ニコボックスは次回掲載と致します。

次回例会

平成16年9月17日(金)

秋季家族会(歌舞伎観劇)

於：御園座